



病院創立 昭和 5 年

診療科目と病棟区分

■ 診療科目

内科 外科 整形外科 胃腸内科 循環器内科 糖尿病内科 神経内科
泌尿器科 皮膚科 リハビリテーション科 リウマチ科 アレルギー科 放射線科

■ 病棟区分

病床数	172床
一般病棟	: 44床
回復期リハビリテーション病棟	: 44床
回復期リハビリテーション病棟	: 44床
障害者施設病棟	: 40床



さく病院の特色

・中核病院として基幹病院・在宅医療の中間施設としての役割

急性期患者と慢性期患者の両方を収容する入院施設としての機能

地域包括ケアシステムにおける役割

在宅支援を役割とする病院
365日リハビリテーションを提供

予防治療から在宅支援までの
地域に根差した診療

看護部の理念

- 1、地域の人々に質の高い信頼される看護を提供します
- 2、患者さん個々の人格を尊重し、患者サービスに努めます
- 3、専門職として自己研鑽に努めます

看護部管理者



看護部の概要

■看護体制

看護単位の構成

（病棟：ケアミックス）

- ・一般病棟
- ・回復期リハビリテーション病棟（2看護単位）
- ・障害者一般病棟
- ・外来
- ・地域連携室

■看護方式

チームナーシング 一部機能別

患者のニーズを満たすため、看護チームが協働し24時間
継続したケアの実践を目指しています

■勤務時間

週40時間勤務

日勤8:30～17:15(休憩60分)

夜勤16:30～9:15 (2交代制)仮眠2時間 休憩1時間

早出・遅出勤務時間は病棟により異なる

*多様な働き方(短時間勤務・夜勤専従)を導入

■休日

- ・週休2日制:祝日を含み年間休日120日前後
- ・年末年始休暇12/30～1/3
- ・有給休暇 初年度(採用6か月後)10日発生
2年目以降 年20日

看護部の取り組み

■職員教育

- ・採用者研修ファイルでの支援
- ・ラダー教育体制 eラーニングの活用
- ・院外研修の案内 研修支援

■医療安全の推進

- ・医療事故・感染対策を実践し安全で適切な看護の提供
- ・医療安全委員会(看護部・病院)で改善・推進

■質の高い看護の提供

- ・尊厳ある看護・看護認知症ケア対策
- ・褥瘡予防改善・口腔ケア
- ・オープン型シャワーバスでの介助入浴
- ・自立援助・介助の統一(生活一覧表活用)

■ワークライフバランスの推進

- ・育児休業制度の支援体制
- ・様々な働き方(勤務時間帯他)導入
- ・残業時間の減少
- ・年次休暇の獲得率アップ

人を活かす組織

組織の成長

看護師として成長しながら習得した看護の専門性を組織活動に活かすことによって、組織の成長を実現する

看護師の成長

人として、看護職として成長しながら人生をよりよく生きることができる

キャリア開発が必要

当院の目指す看護師像

さく病院看護部クリニカルラダー運用マニュアルより

職業人として、

専門的知識・技術を持って
看護が提供できる看護師

チーム医療ができる看護師

高い倫理観のもと、

誠意ある対応ができる看護師

看護活動を通じて

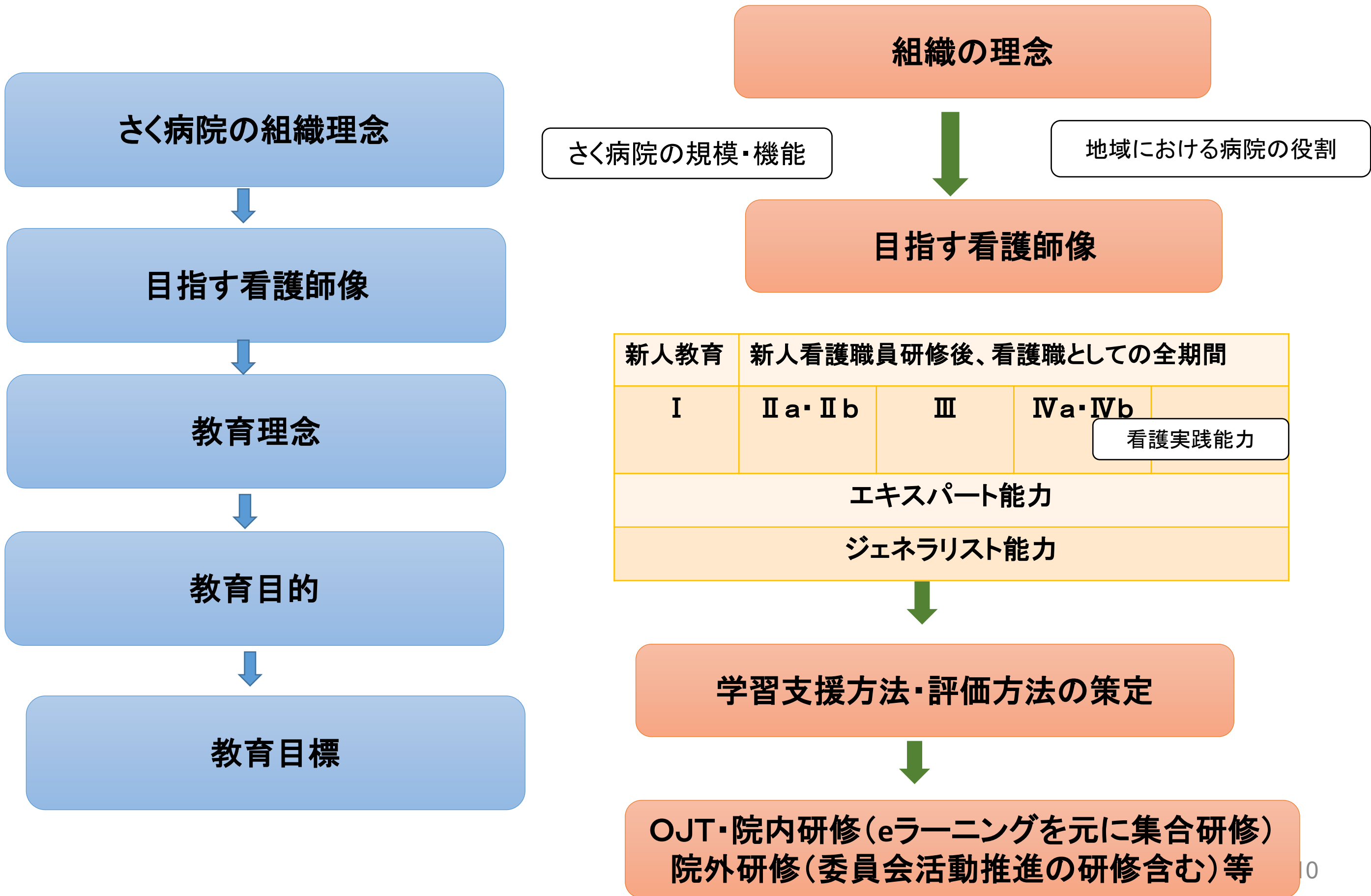
地域へ貢献ができる看護師

療養環境を整備し、

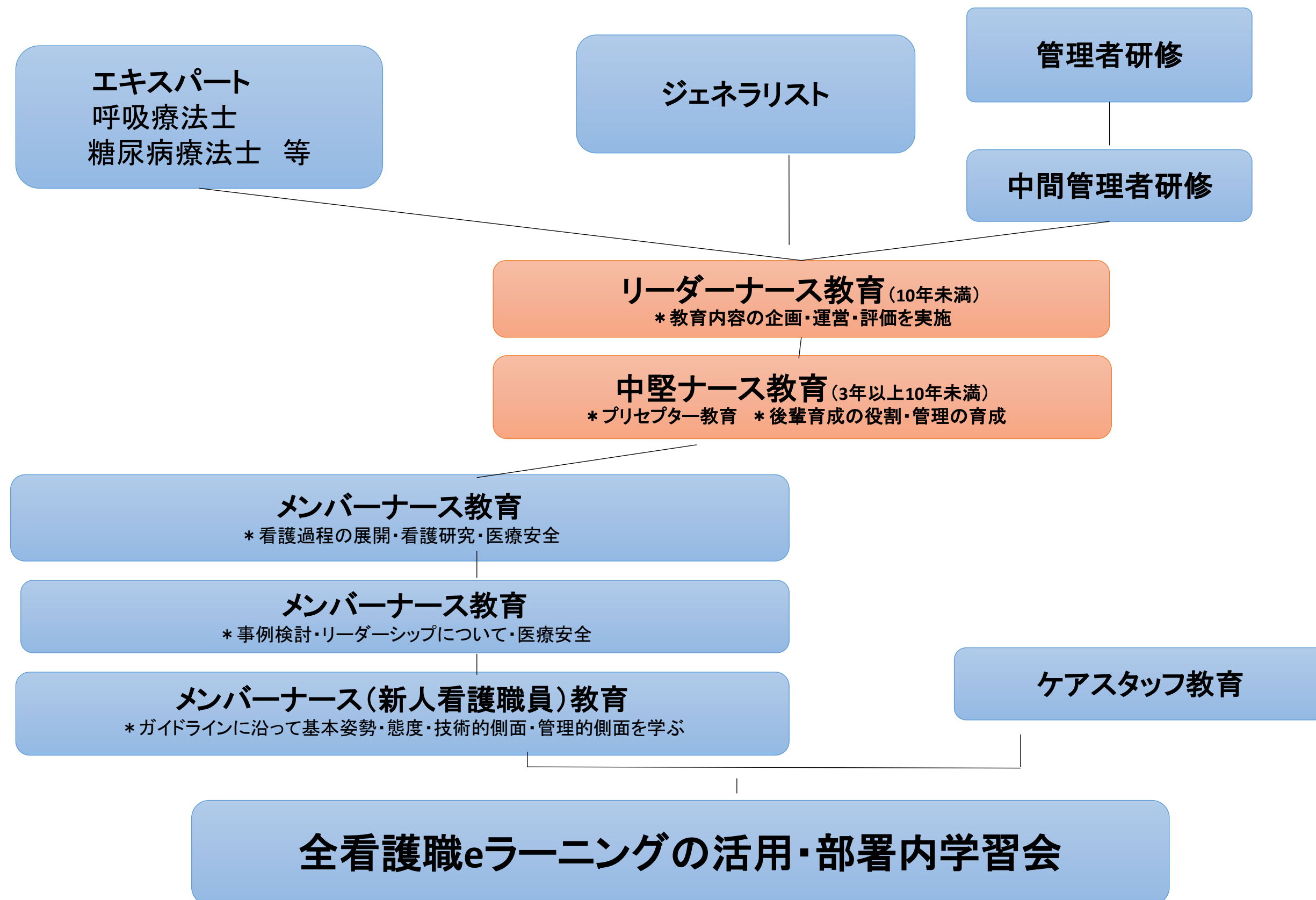
安全な看護が提供できる看護師



さく病院における人材育成



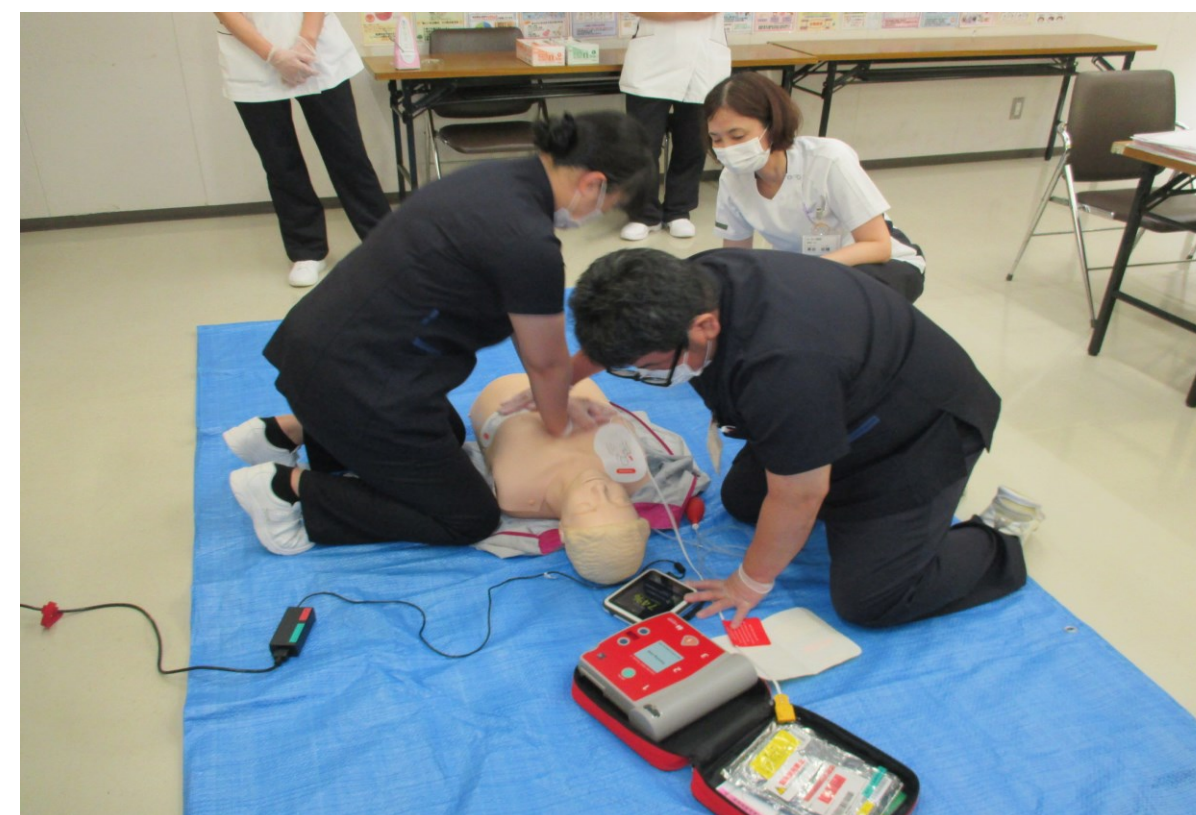
看護部教育計画







研修風景：救急シュミレーション



職員のキャリア開発

■資格取得・院外研修支援(2025.8)

- JNA認定看護管理者3名
- 認定看護管理者研修修了者
ファーストレベル19名/セカンドレベル7名/サードレベル3名
- 日本糖尿病療養指導士2名
- 福岡県糖尿病療養士1名
- 呼吸療法認定士1名
- 医療安全管理者研修終了者5名
- 認知症ケア専門士1名

医療安全の推進

■高齢化に伴うリスクに対応

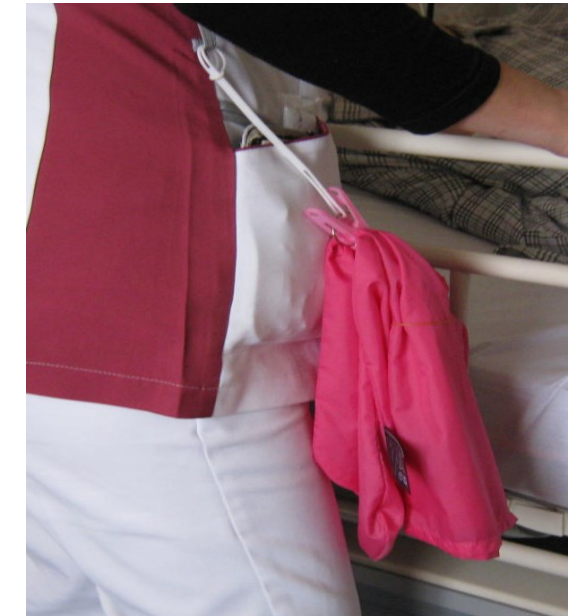
- ・離床キャッチ内蔵のベッド163台
- ・離床センサー50台
- ・褥瘡予防の耐圧分散マットレス163枚
- ・トイレセンサー3台設置



看護の質の向上を目指して

■全ては患者のために

- 週2回の入浴
寝たまま介助入浴
オープン型シャワーバス2台設置
座位での介助入浴 リフト使用し浴槽へ
- 患者・介護者に負担をかけないトランスを目指して
(スライディングボード、シート、グローブの使用)
- 認知症ケア対策(院内レクリエーション実施)
- 介助の統一を図る“生活一覧表”



ワークライフバランスの推進

■働き続けられる職場づくり

- **休日 土日祝シフト制（年間120日前後）**
年末年始休暇12/30～1/3（5日）
- **年休取得率100%**
初年度10日発生最高20日
- **残業時間の減少（R6年度 平均1.63時間）**
- **育児休業制度の支援体制**
- **介護休暇支援**